

令和元年度第3回小和田公民館運営審議会会議録

議題	1 諮問内容の協議について 2 令和元年度小和田公民館主催事業の実施状況について 3 その他 (1) 神奈川県公民館連絡協議会主催事業について
日時	令和元年11月21日(木) 14時10分～15時45分
場所	小和田公民館 2階学習室1
出席者氏名	【出席委員】 佐藤会長、菊崎副会長、青木委員、杉本委員、土田委員、豊田委員 【事務局】 鈴木館長、新倉主任
会議資料	令和元年度第3回小和田公民館運営審議会会議次第 資料1 答申案 資料2 令和元年度小和田公民館主催事業の実施状況
会議の公開・非公開	公開
傍聴者数	1名

(会議の概要)

●佐藤会長

令和元年度第3回小和田公民館運営審議会の会議をはじめます。はじめに、議事録署名人につきましては、名簿順でお願いをしていますので、今回は「杉本委員」にお願いしたいと思います。それでは、「議題1 諮問内容の協議について」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。

●事務局

「議題1 諮問内容の協議について」ご説明いたします。お手元にお配りした答申案につきましては、これまでに審議会で審議いたしました内容となっています。1回目の会議では、今年度の諮問として「茅ヶ崎市小和田公民館における、これからの主催事業について」をお示しし、具体には、1点目として茅ヶ崎市小和田公民館の地域特性や立地条件を踏まえた主催事業について、2点目として、持続的に地域が活性化し、地域力が向上するような次世代を育成する主催事業についてということをお願いしております。2回目の会議では、皆さまの個人の意見を持ち寄っていただき意見交換をしていただきました。過去2回のときに出た意見をまとめたものとなっています。本日皆様の意見をいただいた中で修正し取りまとめていただければと思いますので、よろしく願いいたします。それでは、答申案を一度読み上げさせていただきます。(答申案読み上げ)よろしく審議のほどお願いいたします。

●佐藤会長

事務局の説明が終わりました。ご意見やご質問、ご質疑は、ございますでしょうか。いままでに書いていただいたものとか、話に出た内容などをまとめたものなので、もしよければ答申のまとめとしようかと思いますがどうでしょうか。答申の形としては、まだほかにも今まで書いていただいたものを一緒にして冊子のようなものにするとか、形ではなく今これは、今まで書いていただいたものや話をした内容のまとめなので、これについて質問などありますでしょうか。

●杉本委員

うまくまとまっていると思います。

●菊崎副会長

1 ページ目の①の最後の行で、団体の声を聞くとともに、積極的に共催事業を実施するところですが、そのとおりと思いますが、どうやって団体の声を吸い上げるか、具体的に述べたら良いのではないかと。例えば公民館と公共団体と不定期でもいいので会合をもって情報交換するような何か具体的なものがあれば良いかなと思います。

●杉本委員

この前、コミセンの運営委員会でも同じ様なことが出ていました。

●事務局

今年度にコミセンとの共催事業で、お茶の入れ方や、かつお節教室を実施しています。食育をテーマとして、コミセンの職員と意見交換をしておりますが、ご意見のように最後のところに、定期的あるいは不定期の情報交換をいれることは良いと思います。

●菊崎副会長

(1) ②の地域の人材、資源というものをどうやって具体的に表現するかということですが、例えば、公民館版の学びの講師を公民館に登録して、料理とか食品については〇〇さんとか、そういう人を公民館で登録しておいて、事業をやっていく時に相談して講師になっていただくとか。幅広い小和田地区の人材の登録制みたいなものを作り上げていくとかはどうかなと思います。

●豊田委員

以前小学校で同じような事があり、自分の得意なものを申し出てもらい、地域の人材を登録しておいて、何かあれば例えば子どもたちの事業のときに依頼するというような事があります。公民館でもありますよね。

●事務局

登録制というものは、公民館ではないのですが、市全体として文化生涯学習課で学びの講師というものがあまして、そういったところに相談をすることはあります。あとはこの地域の繋がりの中で探して講師をお願いすることはあります。

●豊田委員

そう言えば小学校でも最近はその制度を聞かなくなったかな。

●佐藤会長

講演会とか何かやろうとするときは、伝手を頼ってお願いするということは、小学校でもありました。青推協でも研修会等をやる時は、市に聞いてみたり、地域の人に聞いてみたり、どちらかというと、登録というよりは、伝手を使っている感じです。

●事務局

市でも学びではないですが、登録制のものをやった時には1、2年なら良いのですが、それが長くなったときになかなか既にやっていないとか、ずっとそれを維持するのが大変だと聞いたことがあります。

●菊崎副会長

登録まではいかなくとも、この関係ならこの人をお願いして協力してもらおう等の資料が整理されていて、人が変わっても受け継ぐ人が参考にできる形のものが残ってゆけば、地域の人材というところで、公民館事業と絡めて行けるのではないかなと思う。

●佐藤会長

公民館で何かやる時は、講師などは、たとえばここで何かやっている団体さんのだれかがよく知っているから教えてもらうとか、やってもらうとかありますか。

●事務局

2つのパターンがありまして、ここで活動されている団体さんと一緒にやるのが1つです。もう1つは、こういう事業をやりたいという時には、地域もそうですし、外からお願いすることもあります。この間では、おとう飯という事業で、地域に住んでいる方に講師になっていただいたりすることがあります。同じことを地域でできる方がいたら地域の方をお願いすること

は考えています。

●佐藤会長

探しているときに公民館に聞けば紹介してもらえるとよい。

●事務局

団体さんで、こういう人を探しているといった場合には、公民館を利用している方や知っている方、あるいは市役所に聞いて紹介することはできます。

●菊崎副会長

困ったときに公民館に相談すれば、情報が得られるようなことができればよい。

●佐藤会長

今回のお茶の入れ方やかつお節教室は、企業からの派遣ですね。企業のホームページを見てこう言う事をやっていますとか現在は調べられますし、個人的にも結構ホームページで調べられたりできます。

●事務局

公民館主催事業の講師をお願いする時には、やはり、地域の方に20人30人と参加いただくので、他の公民館や市外の公民館でやられているとか、講師の方が初めての場合には、事前にできる限り調査した上でというのはあります。

●佐藤会長

答申にもう少しことばを追加しますか。

●菊崎副会長

たとえば(1)②の地域の人材が公民館事業に関わってもらうことは、非常に大切です。これを受けて例えば地域の人材を表面化するため、技術技能を持っておられる方を公民館で地域の資源や人材資料として蓄積し、あるいは更新するというのはあってもよいと考えます。

●杉本委員

今後いろいろな場面で、公民館が講師の方に依頼したときにリストアップしておけばよいと思います。

●佐藤会長

登録したものを表面化するのか、公民館が持っている状態で良いのか。公民館がそういった資料を集めておく形とするか。それで文章の表現が違ってくると思います。

●事務局

個人情報の収集ということになってくるので、個人情報の取り扱い等いろいろ検討しなくてはいけないことも生じてきます。文化生涯学習課で行っている学びの講師といったものがありますので、それを活用するといったことも考えられます。

●佐藤会長

もっと細かく地域で埋もれている方とかの発掘はどうでしょうか。

●事務局

公民館の日々の活動の中で発掘することは可能です。

●菊崎委員

市に登録になると制度に則って個人の方が登録して公開しているので問題ない。もう少し地域に限られたそれぞれ特性をもっておられる方を発掘しておいていただいて、それを公民館サイドで、こういう時にはこういう人いるという、地域に密着した情報が良いと思います。

●青木委員

発掘とはどういったことか。

●菊崎委員

情報が入ってきたときに整理しておく程度でよいと思います。

●佐藤会長

そこは、人材を見つけるための仕組みづくりということになると思います。その方法が、ワークショップや意見箱の設置、その他地道な情報収集で、公民館の働きであって、それは公にされるものでなくとも良いわけで、そういう方法で集めて行きますという感じであれば良いでしょうか。

●杉本委員

おそらく公民館で懸念しているには、収集の仕方と情報の維持であろうと思う。これはすごく大変なことであると思う。

●土田委員

文字に残したらいけないのでしょうか。

●事務局

情報をいただいてリスト化するということは、個人情報の収集になり、個人情報の審議会等の関係や、勝手に集めてはいけない、了解を得る必要もあると考えています。

●佐藤会長

活動して行くと、あの人こんなことが出来るとか、こんなことが出来る人を知っているとかは、自然に入ってくると思うので、それをどういう形にするは、公民館の方で個人情報等を考え併せて、情報を集めて地道にやって行きましょうということですね。

●事務局

皆さんのご意見は良くわかりました。今日の文書については、あと一回しかございませんので、いただいた意見を踏まえて、会長と副会長とご相談させていただいて、次の会議の前にもう一度見ていただき、そこでニュアンス等をご確認いただきたいと思います。

●佐藤会長

今出た意見を踏まえて、精査したものを次回の前に見ていただきたいと思います。他の文章のところで何かございますでしょうか。

●菊崎副会長

簡潔にまとまっていて良いと思います。

●豊田委員

(2) ①の「核家族化が進み、兄弟姉妹の数も少ない現代の子どもたちに、社会には自分よりずっと小さくて弱い存在がある」というのはわかりにくく、どういう事でしょうか。

●土田委員

私が書いたところに関わると思いますが、一人っ子が多くなり、小学校で子育て広場をやった時の体験なのですが、3年生くらいの小学生が、休み時間になると子育て広場のところに遊びに来るんですが、赤ちゃんをすごくかわいがっていて、一緒に遊んだりして、小さい子もすごく喜ぶわけです。そういうところを見ていて、いつもは自分が家族の中では、一番小さくて可愛がられている中で、世の中には自分よりもっと小さい子がいて、その子可愛がっているという経験が必要ではないかと言った意味で書きました。

●豊田委員

文章的からは親がいないとか、何時でも働いていていないとか、そういう場面での小さい子などと結びつけてしまいました。ボランティアとの表現もありましたので、そのように感じてしまいました。

●佐藤会長

兄弟姉妹のある子が少ないってことは、多年齢の子との付き合いが少ないということですね。自分より上の子であったり下の子であったり。

●豊田委員

もし意味を限定するのであれば、少し分かりやすいようにしたらどうでしょうか。

●佐藤会長

違うようにとらえればこういう表現になりますし、他年齢との付き合いとということであれば、他年齢ということになりますし。そうすればボランティアの内容も違ってきますよね。小中学生で青推協の活動のなかでボランティアという形で下の学年と遊ばせたり学ばせたりしています。そういう形でよいのか、保育園、幼稚園に入ってしっかりしたボランティアの活動をしてもらうのか、で表現が変わってきます。

●豊田委員

先がしっかりとすると、その後の文章の意味が変わってくると思います。こういったことができれば非常に良いことだと思います。

●事務局

この表現については、委員長と個別に調整させてもらいたいと思います。

●杉本委員

ボランティアは、最近中学校でも積極的になっているので、一緒にやっても良いのではと思います。例えば地域の防災訓練で積極的に参加してくれています。

●佐藤会長

学校でも地域での関りをということで、何年かやられていました。昔松浪中学校で、事業の一環で全員参加して行っていたが、そうすると一日で授業に支障が出たり、土曜日だと部活の大会等もあったりして少なくなりました。やはり何かの時に中学生は地元にいるので、ボランティアに来てもらえればということ話になって、また参加してくれるようになったと思います。

●杉本委員

中学生の防災マップ作りが、自治会と一緒にあってあり、消火栓がどこにあるとか自分たちの町が防災をどうやっているのか、発表の仕方もあり教育的な効果もあります。

●佐藤会長

小学校、中学校のやり方もあるので、ボランティアについては、今後公民館でできることを考えて行けば良いのではと思います。

●菊崎副会長

情報発信について印刷物のカラー化など、予算もありますが可能でしょうか。

●事務局

全てのカラー化は難しいですが、張り出すものとか目立たせたいものとかは、カラー化しています。

●菊崎副会長

予算を踏まえて目立たせたいものとか、やってもらえればと思います。

●佐藤会長

他にはいかがでしょうか。

●事務局

答申の取りまとめの仕方ですが、後半の資料編は、事業の実施状況をつくります。委員皆さんの意見を各々載せるのか、まとめたものだけとするのか。もし個々の意見を載せる場合には、これまで議論した中で、意見も変わってきていると思われるので、改めてご議論いただきたいと思います。

●佐藤会長

他の館では、委員の個別の意見も載せて、そのあとにまとめを載せるという形が多かったのですが、決まりがあるわけではないので、まとめと事業の実施状況のみを掲載するとか、色々考えられます。そこをどうしたら良いのか決めたいと思います。

●杉本委員

これまで議論してきて意見がまとまってきているので、全体の意見を掲載する形式でよいのではないですか。

●青木委員

それでよいと思います。

●佐藤会長

それでは、皆さんの意見をまとめたものと事業の実施状況を一緒にしたもので決定したいと思います。

●各委員

異議なし。

●佐藤会長

次に「議題2 令和元年度小和田公民館主催事業の実施状況について」に移りたいと思います。事務局より説明をお願いします。

●事務局

＜資料2「令和元（2019）年度 小和田公民館主催事業の実施状況」及びパワーポイントを使用して第3回会議までの令和元年度事業の実施状況を説明＞

●佐藤会長

説明が終わりました。質問などがあればお願いします。

●菊崎副会長

父親が地域にでもらう機会として「おとう飯」などは良い企画だと思います。続けるとよいと思います。

●杉本委員

かけっこ教室の参加状況はどのような感じですか。

●事務局

想定よりも多く申し込みがあり、小学生と幼児の部に分けました。親の参加も入れて78名となります。

●佐藤会長

元気アップ体操の参加状況はどうですか。

●事務局

毎回、20名程度の参加があります。スタートした当初は少なかったと聞いていますが、継続することで認知され増えてきている状況です。

●杉本委員

ゴスペルはどのような方を対象としたのか。

●事務局

女性を対象として、今週末の音楽祭出場を目標にやってきました。

●豊田委員

脳トレのマーじゃんは複数回の講座であるが、サークル化しているのか。

●事務局

サークル化はしていませんが、指導いただいたサークルに体験加入している方が多くいます。

●豊田委員

放課後シネマは、子どもの居場所としても回数を増やしてもよいと思います。

●佐藤会長

これからの事業ですが、大人の遊び場「小和田演芸館」とはどういった事業でしょうか。

●事務局

落語、マジックやコント、大道芸等、地域、市内の方に演じてもらって、お正月から笑ってもらおうといった企画です。

●菊崎副会長

来年度の事業計画はいつ頃からはじめますか。

●事務局

これからとなります。

●菊崎副会長

公民館ふれあい事業で古典文学講座は人気もあり、よい講座だと思いますのでお願いしたい。

●佐藤会長

次に「議題3 その他」の「神奈川県公民館連絡協議会主催事業について」を議題とします。事務局よりお願いします。

●事務局

1月8日の座間市での研修会には、青木委員と土田委員に参加いただきました。1月17日に県公民館大会が愛川町で開催されますので参加する2名の方をきめていただくようお願いいたします。交通手段は市役所からマイクロバスとなります。

●佐藤会長

どなかたいかがでしょうか。

●菊崎副会長・杉本委員

参加します。

●佐藤会長

よろしくお願いします。他に何かございますか。

●事務局

3点ほど事務連絡がございます。1点目、3月7日と8日に小和田公民館まつりを菊崎副会長が実行委員長となっていていただき開催します。2点目、市社会教育課の審議会委員等研修が12月20日に青少年会館で開催されますので、出欠を11月27日までに事務局へお知らせください。3点目、次回の第4回会議が3月26日木曜日の14時からとなりますのでよろしくお願いします。

●菊崎副会長

社会がIT化に向かっており、特にキャッシュレス時代に対する高齢者の不安を感じていると思います。地域の人を対象とした事業を公民館で考えてもらいたい。

●豊田委員

高齢化時代を迎えた中では、成年後見人制度、ジェネリック薬の問題など様々な課題が生じています。

●土田委員

保健所とかではやっているが、この地域のために医療機関と連携した講座も考えられます。

●佐藤会長

社会の変化に合わせた健康に関する講座もよいと思います。実施している講座も初級、中級など段階に応じた内容とするのもよいと思います。それでは、本日はこれで終了といたします。